

科名 耳鼻科

対象疾患名 切除不能な局所進行又は局所再発の頭頸部癌

プロトコール名 アキヤルックス

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	…	28
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ルートキープ アキヤルックス投与後4時間まで	↓						
2	点滴注	側管①	生理食塩水 デキサート注 ポララミン	50mL 6.6mg 5mg	30分かけて	↓						
3	点滴注	側管②	アキヤルックス	640mg/m ²	2時間かけて。 調製、投与時遮光 希釈しない。前後生食でフラン シュー	↓						
投与後少なくとも4時間経過観察												

★1クール=28日

～MEMO～

催吐レベル2(30～10%)

最大4回まで

点滴静注終了20～28時間後にレーザ光を病巣部位に照射する。

投与時と投与後一定期間は光曝露対策を行うこと。

投与後4週より前に直射日光に当たる可能性がある、もしくは患者から希望がある場合は

投与7日目以降に腕の一部に対して直射日光等を照射に皮膚の反応の評価を行う。